

平成29年度 「横浜市神奈川区文化センター」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	112,860,000		112,860,000	112,860,000	0	横浜市より
利用料金収入	29,730,000		29,730,000	28,525,030	1,204,970	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	5,837,000		5,837,000	6,783,706	△ 946,706	
自主事業収入	720,000		720,000	882,000	△ 162,000	横浜市芸術文化教育プラットフォームより
雑入	997,000	0	997,000	791,806	205,194	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料	450,000		450,000	328,610	121,390	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（ ）	547,000		547,000	463,196	83,804	各媒体の販売料など
収入合計	150,144,000	0	150,144,000	149,842,542	301,458	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	60,970,000	0	60,970,000	57,994,478	2,975,522	
給与・賃金	60,970,000		60,970,000	57,994,478	2,975,522	
社会保険料			0		0	
通勤手当			0		0	共同事業体及び協力会社各社にて負担
健康診断費			0		0	共同事業体及び協力会社各社にて負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体及び協力会社各社にて負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体及び協力会社各社にて負担
事務費	7,968,000	0	7,968,000	8,396,853	△ 428,853	
旅費	65,000		65,000	216,888	△ 151,888	
消耗品費	599,000		599,000	1,810,637	△ 1,211,637	
会議賄い費	50,000		50,000	43,416	6,584	
印刷製本費	1,450,000		1,450,000	1,725,779	△ 275,779	広告宣伝費含む
通信費	720,000		720,000	1,554,099	△ 834,099	
使用料及び賃借料	2,166,000	0	2,166,000	2,090,400	75,600	
横浜市への支払分	150,000		150,000	74,400	75,600	目的外使用料(自動販売機)
その他	2,016,000		2,016,000	2,016,000	0	駐車場賃借料
備品購入費	1,500,000		1,500,000	240,500	1,259,500	
図書購入費	0		0	38,268	△ 38,268	
施設賠償責任保険	95,000		95,000	10,286	84,714	賠償責任保険、動産総合保険、レジャーサービス保険など
職員等研修費	300,000		300,000	303,910	△ 3,910	
振込手数料			0	6,046	△ 6,046	
リース料	720,000		720,000	24,580	695,420	
手数料	3,000		3,000	55,204	△ 52,204	
地域協力費	300,000		300,000	276,840	23,160	
事業費	11,720,000	0	11,720,000	14,626,217	△ 2,906,217	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	11,000,000		11,000,000	13,644,551	△ 2,644,551	
自主事業費	720,000		720,000	981,666	△ 261,666	
管理費	63,476,000	0	63,476,000	56,186,811	7,289,189	
光熱水費	16,990,000	0	16,990,000	15,033,777	1,956,223	
電気料金	9,934,000		9,934,000	11,116,579	△ 1,182,579	
ガス料金	3,689,000		3,689,000	2,140,544	1,548,456	
水道料金	3,367,000		3,367,000	1,776,654	1,590,346	
清掃費	8,000,000		8,000,000	8,798,738	△ 798,738	
修繕費	4,166,000		4,166,000	2,247,775	1,918,225	
機械警備費	514,000		514,000	518,400	△ 4,400	
設備保全費	18,360,000	0	18,360,000	14,142,273	4,217,727	
空調衛生設備保守	7,800,000		7,800,000	7,950,960	△ 150,960	
消防設備保守	900,000		900,000	518,400	381,600	
電気設備保守	2,700,000		2,700,000	561,900	2,138,100	
害虫駆除清掃保守	600,000		600,000	648,000	△ 48,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	6,360,000		6,360,000	4,463,013	1,896,987	舞台設備保守費、ピアノ点検費など
共益費	15,446,000		15,446,000	15,445,848	152	ザ・ステーションタワー東神奈川管理組合管理費
公租公課	10,000	0	10,000	2,000	8,000	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	10,000		10,000	2,000	8,000	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	6,000,000	0	6,000,000	12,636,183	△ 6,636,183	
本部分	6,000,000		6,000,000	12,636,183	△ 6,636,183	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	150,144,000	0	150,144,000	149,842,542	301,458	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	6,557,000		6,557,000	7,665,706	△ 1,108,706	
自主事業費支出	11,720,000		11,720,000	14,626,217	△ 2,906,217	
自主事業収支	△ 5,163,000		△ 5,163,000	△ 6,960,511	1,797,511	

管理許可・目的外使用許可収入	666,000		666,000	328,610	337,390	
管理許可・目的外使用許可支出	150,000		150,000	74,400	75,600	
管理許可・目的外使用許可収支	518,000		518,000	254,210	263,790	

横浜市神奈川区民文化センター「かなっくホール」平成 29 年度事業報告

1. 施設の概要

施設名	横浜市神奈川区民文化センターかなっくホール
所在地	横浜市神奈川区東神奈川一丁目 10 番地 1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下 1 階地上 19 階建ての 地上 1 階から 4 階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,950 m ²
開館日	平成 16 年 7 月 16 日

2. 指定管理者

法人名	横浜メディアアド・清光社 共同事業体 代表企業：株式会社 横浜メディアアド
所在地	横浜市神奈川区栄町 5 番地 1
代表者	代表取締役社長 三浦 彰久
設立年月日	昭和 58 年 1 月 22 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

3. 人員配置

項目	人数
館長	1
副館長（運営担当責任者）	1
事業担当責任者	1
舞台技術責任者	1
施設担当責任者	1
運営担当者	3
事業担当者	1
舞台技術担当者	2
経理担当者	1
カルチャースタッフ（受付）	13

4. 事業実績

（1）利用者数

126,180

開館日数

347

(2) 部屋稼働率

	利用可能数	利用数	利用率	利用者数
ホール	1,023	916	89.5%	60,621人
ギャラリーA	340	335	98.5%	19,986人
ギャラリーB	340	340	100.0%	19,011人
音楽ルーム	1,728	1,353	78.3%	19,161人
練習室A	1,731	1,662	96.0%	3,914人
練習室B	1,732	1,378	79.6%	3,487人
全体	6,894	5,984	86.8%	126,180人

(3) 自主事業実施内容

内容	開催数	参加人数(延べ人数)
アーティスト支援事業	2	238人
地域連携事業	10	2,180人
芸術鑑賞を深める事業(鑑賞型)	20	6,376人
芸術鑑賞を広める事業(体験型)	57	948人
合計	89	9,742人

5. 委託料収支状況【協定書による経費】(単位:円)

項目	予算額	決算額	増△減
収入			
指定管理料	112,860,000	112,860,000	0
利用料金収入	29,730,000	28,525,030	1,204,970
事業収入	7,554,000	8,457,512	▲903,512
合計	150,144,000	149,842,542	301,458

支出			
人件費	60,970,000	57,994,478	2,975,522
管理費	63,476,000	56,186,811	7,289,189
事業費	11,720,000	14,626,217	▲2,906,217
事務費	7,968,000	8,396,853	▲428,853
事務経費	6,000,000	12,636,183	▲6,636,183
公租公課	10,000	2,000	8,000
合計	150,144,000	149,842,542	301,458

収支計	0	0	0
-----	---	---	---

平成29年度 横浜市神奈川区民文化センター 自主共催事業報告

No.	タイトル	実施時期	会場	動員数	内容
1	ママと赤ちゃんのためのバレエレッスン	4月,7月,9月	ホール 舞台面	49	育児が始まったばかりのママたちのリフレッシュの場の必要性を感じ、生ピアノ演奏によるバレエレッスンを開催。ホール舞台面を使ったワークショップは初めての試みである。
2	真空管アンプの会	5月,10月,1月	音楽 ルーム	43	好評のちよっとマニアックな講座。今年度は午前中にセッティングの時間を設け、午後を試聴会とした。若い人たちへ門戸をと10月には日曜日に開催。世代間交流も生まれ、今後も愛好家の増加が見込まれる。同じ趣味、興味を持つ人たちへ活動の場を提供し、繋ぐことにより地域住民の暮らしを豊かにする。
3	ショパンの会	奇数月 (全6回)	ホール	1,760	年間を通して一人の作曲家に焦点を当てたシリーズ第2弾。今年度はショパンを取り上げた。全回チケットも早々に完売、区民の皆様に着してきたワンコイン(500円)で楽しめる60分コンサートである。ナビゲーターでもあるプロピアニストの解説と毎回趣向を凝らした内容に好評を得ている。
4	ママによる赤ちゃんのためのリビングコンサート	6月～2月 (全4回)	音楽 ルーム ・ホール 舞台	153	昨年度、状況を見ながら構成した「ママと赤ちゃんの為のリビングコンサート」の新シリーズ。赤ちゃんも無理なく鑑賞でき、パパやママも生の音楽に触れ、リズムに乗って楽しめる参加型コンサート。ミュージックファシリテーターをはじめ、第一人者たちが音楽の魅力を余すところなく紹介する。
5	おとなJAZZ	6月9日	ホール	212	JAZZに興味はあるけれど何から聴けばよいかわからない大人に向け、トークと実演の2部形式のJAZZコンサートを提供。昨年度のアンケートを元に内容を見直し、本年度は女性ヴォーカルを中心にベテラン勢にご出演いただく。また、トークは音楽コンシェルジュに依頼し、それにより観客も多いに盛り上がり、ホール鑑賞者の裾野を広げた形となった。
6	Play me♪ ～ぼくを弾いて、 JAZZピアノで～	6月23日	ホール ホワイエ	43	ホールホワイエのピアノを使って開催する参加型JAZZライブ。JAZZピアニストとMCにプロ編曲家を呼ぶ。例年、子どもや女性客が多いが、今年はちょっと渋めの男性客の姿も多くあり、大人JAZZ来場者の興味もそそるイベントとなる。片手を失った車椅子の女性の参加があり、大変楽しそうに演奏されている様子が印象に残る。
7	リーディングの会	7月～9月 (全6回)	音楽 ルーム他	32	演劇稽古初日に行う「顔合わせ」「本読み」を体験し、演劇に親しんでいただく演劇体験プログラム。昨年度のアンケートより回数を増やしてほしいとの要望があり、3回連続講座として開催する。宮沢賢治とシェイクスピアの難解作品に取り組んだが、予習復習をかかさぬ熱心な参加者が多かった。今回は男性参加者もあり。
8	七夕 3企画	7月7日	ホワイ エ、ホー ル	444	かなっくホールでプラネタリウムと朗読を鑑賞していただき、宇宙やお話の世界に思いを馳せる七夕企画。 ●miniminiプラネタリウム「夏の星座のおはなし」年齢別4回開催 ●チェロと朗読でつづる平面プラネタリウムと「よだかの星」 ●チェロと朗読でつづる「星の王子さま」
9	かなっく寄席 3企画	7/13、1/13、 3/3	ホール	831	神奈川県民に聴いて欲しい実力派を紹介する独演会3企画。身近なホールで落語に触れる鑑賞機会とする。 ①春風亭一之輔独演会 ②桂歌助独演会 ③ひな祭り 小朝の会
10	はじめの一步コンサート	7月27日	ホール	198	クラシック音楽のコンサートの聴き方や作曲家の思いや楽器の作りなどを、5歳から参加できるレクチャーコンサート。平日仕事のある親との来場が難しい子どもの為に休日開催も検討する。コンサートチューナーによるピアノの部品からの響きの仕組みなどをレクチャーに加えた。
11	「GEROショーイング」	7月14日 ～16日	ホール	120	昨年度に続き2回目の開催。神奈川県民在住、在学、在勤者は無料。レジデンスアーティストの新作を創作過程で披露し、その反応を創作に活かすワーク・イン・プログレス手法を実施。普段はコンテンポラリーダンスに馴染みのない人や親子連れなど来場、初めてみる世界観を不思議に思いながらも楽しまれた様子だった。

12	子どものためのシェイクスピア「リア王」	7月22日	ホール	92	区民の皆さまに、本格的な演劇作品に触れてほしいと全国ツアー作品を招致する。まだまだ演劇ファン層が形成できず、舞台設備に費用を要す為、赤字が大きい事業だが、演劇を浸透させるには必要と考える。広報にも一考を加え今後も継続する予定。
13	かなっく ティーンズバンドサミット	8月9日	ホール	150	施設利用の少ない若年層に働きかけ、利用を促すだけでなく、同世代の若者の交流拠点となるようにコンテストを開催する。県立高校の軽音楽部より8バンド、専門学校より2バンドが出演。司会進行と模範演奏を若手実力バンドに依頼し、舞台技術スタッフ、カメラマンはプロで固め、ホールならではの経験の場を提供した。
14	KIDS DAY 7企画	8月11日	全館	254	当日申込みや自由参加、親子ペアで参加する事業などを新たに追加する。また、地域作業所、パン屋、菅田地区の朝採れ野菜も販売するマルシェも同時開催。全館を使いイベントを開催する。①みんなで作る水族館②お抹茶体験③アフリカンダンス④KIDS meet ⑤ダンボールでロボットを作ろう⑥タブレットdeプログラミング⑦お話し会
15	ワガノワバレエレッスン ・ピアノレッスン	8月11日 ～13日	ホール 舞台面	93	世界最高峰のバレエ学校の教師とピアニストによるテクニック重視の日本のレッスンとは違う、表現重視のレッスンを受けることにより、より世界に飛躍するアーティストを養成する機会とする。バレエと切り離せない音楽の役割に着眼し、バレエレッスンに付くバレエピアニストに学びの機会を与える。
16	3人ぐらいdeシェイクスピア「ヴェニスの商人」	9月23日	ホール	125	難解なシェイクスピア劇を分かりやすく60分にリメイクし、3人の役者によるリーディングと音楽で繋ぎ、演劇に親しんでいただく機会とする。
17	ぼくらの劇場2017ー美術作品からダンスを動きを考えよう！ー	8月1日 ～13日	ギャラリー	8	普段のコミュニティーを離れ、自己解放し、他者と協力して作品を創作し、表現することとコミュニケーションを図ることの楽しさを感じる機会を提供する。プルーゲルの版画2作品から受けたインスピレーションを動きや美術、衣装、音楽で表現する30分間の作品を創りだす。賞賛の言葉は参加した子どもたちの自信へと繋がった。
18	ぼくらのマチノトリエンナーレ～でっかい亀をつくらう！～	9月20日 ～23日	ホール ホワイエ	16	ヨコハマトリエンナーレへのコマーシャル企画。区民の皆さまと神奈川区のシンボルであるカメを創作し、現代アートに触れる機会とする。若手アーティストの造形作家にホールホワイエにて4日間の滞在制作を依頼。コンセプトは捨てられるはずのダンボールを素材にし、生き物を創作し、再生させ、生きるとは何かと問いかける。
19	ようこそ魔法の箱へ ～魔笛～	11月23日	ホール	357	ホールを魔法の箱に例え、扉を開けると不思議な世界に入り込み、60分間でオペラを鑑賞できる、家族で参加でき、楽しくオペラに触れられる導入企画です。
20	若手応援寄席	11月3日	ホール	118	真打を目指す二つ目の若手を応援するとともに、落語鑑賞の未経験者も臆せず参加できる気軽な寄席体験とする。
21	大人のワークショップ！ (夜間開催) 3企画	11月、1月	ホール、 ギャラリー	91	①狂言「柿山伏」体験 ②浮世絵摺り体験 ③落語WS「時そば」それぞれプロの指導によるワークショップは充実した時間が持てると好評。落語では大人と子どもを分けて欲しいという要望もあり。
22	オヤジビアホール	11月10日 ～11日	ホール ホワイエ	529	レジデンスアーティストプロデュースの「おやじカフェ」だったが、今回は当館の独自企画として開催。新しい参加者を交えながら新しい振付やコンセプトを作り出し事後グループ「出舞ー丁」として、たくさんのお客様に楽しんでいただくことが出来た。ダンスを通して世代間交流も生まれた。
23	ミラノ大聖堂聖歌隊 ～グレゴリオ聖歌とクリスマス の歌～	12月2日	ホール	287	海外の合唱団に触れ、合唱の奥深さを知り、家族でクリスマスシーズンを楽しく過ごすコンサート。世界最大のゴシック建築であるイタリアのミラノ大聖堂所属の聖歌隊を招聘。初めてグレゴリオ聖歌を鑑賞する方にも楽しんでいただけるよう指揮者にプレトークをお願いする。

24	こどもJAZZ クリスマスコンサート	12月16日	ホール	356	赤ちゃんから入れる気軽なJAZZコンサート。指定管理者交代後初の事業として開催したJAZZコンサートが大変好評で、企画一連が朝日新聞に記事として大きく取り上げられたことからチケットは早々に完売。事前楽器作りワークショップの開催、トナカイダンサーズの楽しい踊りやサンタさんからラムネのプレゼントがあったりと盛りだくさんで楽しいコンサートとなる。
25	浮世絵展 北斎と広重 ～復刻版 浮世絵展～ 及び「五感で鑑賞 浮世 絵版画」レクチャート ーク	1月6日～14 日	ギャラリー	1,613	安政年間創業の版元「高橋工房」の全面協力により、美術館が所蔵する江戸時代の色が抜けた浮世絵版画ではなく、当時の色を再現した色鮮やかな復刻版浮世絵版画を、来場者の皆様に楽しんでいただくことが出来た。作成方法や職人たちの高度な技術を学ぶコーナーも設けたところ、近隣小学校の6年生がクラスごとに来館し、図工の授業として鑑賞した。
26	曲目解題コンサート ハイドン交響曲 103番太鼓連打	2月9日	ホール	101	60分プログラムの前半に作曲家や作曲家がその曲に込めた思いをデモンストレーションを交えて奏者が解題し、後半で1曲を全曲を聴くことにより、鑑賞を深めるレクチャーコンサート。
27	アウトリーチ活動 インリーチ活動 (区内小学校5ヶ所、 中学校3ヶ所 及び神奈川図書館、 計9ヶ所)	6月～2月 (全17日)	各学校、 施設	1,651	日本のトップレベルのアーティストにふれあうことにより、レベルの高い体験をし、区内小中学校の音楽芸術体験の場を創設、キャリア形成支援を行なった。各回、省察(振り返り)活動を行うことにより、今求められている資質、人間関係形成・社会形成能力・自己理解・自己管理能力などの育成を目指す。
28	対話型芸術鑑賞ファシリ テーター養成講座	12月、1月	音楽 ルーム	16	当館での自主事業に取り入れている対話型芸術鑑賞のファシリテーター育成講座。認定NPO法人芸術資源開発機構(ARDA)の研修を誘致。MOMA美術館で開発されたこの手法は教育現場でも注目されている。

動員数総計 9,742